

【中学校の部】最優秀賞（大分県教育の日推進会議会長賞）

笑顔のために

九重町立このえ緑陽中学校 3年
加木 みゆな



「新しい朝が来た、希望の朝だ」

夏休みの私の一日はこの歌と共に始まります。私は今中学3年生です。中学生になってもラジオ体操を続けています。毎日近所のバス停の広場でラジオ体操に参加するのは、私たち中学生二人と近所のお年寄りです。

私の住む地域は、子どもの人数が少ないです。私が小学校の低学年の時には兄や姉もいて小学生も多かったのですが皆で朝集まって、ラジオ体操のついでにサッカーをしたり、鬼ごっこをしたりしていました。でも、私が高学年になると兄や姉も中学生になり、地域の小学生は二人になりました。ラジオ体操をやめようかという話にもなっていました。朝はやはり朝日を浴びたいよねということで二人でも続けよう決めました。それから二人でいろいろ考えて、せっかくなら近所のお年寄りを誘ってみようということになりました。自分たちで近所のお年寄りに声をかけると、多くのお年寄りの方が集まってくれました。

ラジオ体操は6時半からですが、おばあちゃんたちはいつも早くに来ていて、皆でバス停に座ってお話をしています。私は朝が弱いので始まる五分前ぐらいに着くのですが、いつもバス停から笑い声が聞こえてきて、朝から最高の気分になります。体操の準備をして音楽が始まれば、皆がいつもの位置に立って体操が始まります。ラジオ体操第1・第2が終わってから、「ありがとうございました。」とあいさつをして私たちが、カードにスタンプを押します。お年寄りのカードは私の手作りです。毎年デザインを変えているので楽しみにしてくれています。お年寄りが好きそうな柄にしたり、スタンプやシールを見えやすいように大きくしたりと、私なりに工夫しています。夏休みの最後には、続けてくれた記念品を手作りして配っています。私にとっては日常となった夏のラジオ体操ですが、お年寄りのみなさんからはいつも、喜ばれたり、褒められたり、感謝されたりしています。今年は特にその感謝の気持ちを私の通う中学校の校長先生に報告してくれていました。校長先生からは

「中学校が統合して地域に子ども達の声が聞こえなくなったと言われることが多い中、あなたのしていることは地域との絆をしっかり結んでくれるすばらしいことです。ありがとう。私もとても嬉しいです。」

と言ってくださいました。

褒めてもらったり、感謝されたりすることは嬉しいけれど、実は私の方がずっと感謝しているのです。お年寄りの方と一緒にラジオ体操を始めて今年で6年になります。この6年間、毎日ラジオ体操を楽しみに早起きをして集まってくれて、朝から笑い声を聞かせてくれて、笑顔を見せて、私を元気にしてくれます。私は自分の感謝の気持ちを伝えるために、毎年最後の日に記念撮影をして、手作りの記念品をプレゼントしています。今年はみなさんが健康で楽しい日々を送れるように願ってだるまのお守りを作りました。今年入院していて来られなかった方の分も作って渡しました。

私は、自分のやってきたことが特別なことだとは思っていません。ただ、地域とのつながりが減ってきている今、自分がしてきたことで、お年寄りが笑顔になり、地域との絆を結ぶことにつながったのであれば嬉しいです。

来年は高校生になりますが夏休みのラジオ体操は続けていくつもりです。私ができることで、誰かが笑顔で幸せだと感じてくれたら、私自身も幸せです。これからも人のためになる人生を歩んでいきたいと思っています。